



申請書  
(4/5枚目)

給付申請額を計算して記入します。

申請書  
(5/5枚目)

給付金の振込先の情報を記入します。

**住まいの復興給付金制度** 住まいの復興給付金申請書

3 給付申請額を計算してください。  
また、自ら給付申請および給付金の算出を代表申請者に委任し、代表申請者はこれを承認します。

4 給付申請額 **①**と**②**のうち少ない方の金額が給付申請額となります。

**A 被災時点の被災住宅の床面積と、り災状況等** 給付単価 被災時点の被災住宅の床面積と、り災状況等に基づき算出された給付単価を算出した額

全壊または全壊	1,680円
大半壊	1,650円
半壊または大半壊	1,380円
一部半壊または大半壊	840円
一部半壊または大半壊	1,680円
全壊または全壊	2,800円
大半壊	2,750円
半壊または大半壊	2,300円
一部半壊または大半壊	1,400円
一部半壊または大半壊	2,800円

90.00㎡ × 10%の率 = 9.00万円

124.4,000円

**B 実際に支払った補修工事費の内、電料分に相当する額**

実際に支払った補修工事費の電料分合計 4,320,000円

電料分率 0.03 (3%)

120,000円

**C 高層建築物に相当する補修工事費の電料分**

実際に支払った補修工事費の高層建築物に相当する部分合計 1,200,000円

電料分率 0.05 (5%)

60,000円

①と②のうち少ない方の金額を記入 給付申請額 **1,200,000円**

**住まいの復興給付金制度** 住まいの復興給付金申請書

5 給付金は(代表)申請者本人名義の口座に振り込まれます。

給付金の振込先情報 口座番号は必ず記入してください。記入も間違えると入金できないことがあります。

(代表)申請者本人名義の預金口座 (代表)申請者本人名義の口座に振り込まれます。本人申請者本人名義の口座に振り込まれます。

金融機関 (中うち1銀行以外)  銀行  支店  支店  支店  支店

口座番号 (口座種別) (支店) (口座番号) (口座種別) (支店) (口座番号) (口座種別) (支店) (口座番号)

ゆうちょ銀行

口座名義人(個人)の振入先について  
①必ずお名前を記入してください。振込先を間違えると入金できません。  
②住所を必ずお名前(フリガナ)でも記入してください。住所を間違えると入金できません。  
③(代表)申請者(法人)の記入上の注意  
法人の場合は、代表申請者(法人)の代表者(代表取締役)の名義で記入してください。  
代表申請者(法人)の代表者(代表取締役)の住所を必ずお名前(フリガナ)でも記入してください。

## 同意事項

給付申請に係る重要な内容が記載されていますので、必ずお読みください。提出は不要です。

**住まいの復興給付金制度** 提出不要

<同意事項(補修)>

1. 申請書の記載内容が事実と一致していること。  
2. 申請書の記載内容が法令等に基づき適正であること。  
3. 申請書の記載内容が申請者の権利義務を侵害しないこと。  
4. 申請書の記載内容が申請者の利益を侵害しないこと。  
5. 申請書の記載内容が申請者の信用を損なわないこと。  
6. 申請書の記載内容が申請者の名誉を毀損しないこと。  
7. 申請書の記載内容が申請者のプライバシーを侵害しないこと。  
8. 申請書の記載内容が申請者の個人情報等を適切に管理すること。  
9. 申請書の記載内容が申請者の権利義務を侵害しないこと。  
10. 申請書の記載内容が申請者の利益を侵害しないこと。  
11. 申請書の記載内容が申請者の信用を損なわないこと。  
12. 申請書の記載内容が申請者の名誉を毀損しないこと。  
13. 申請書の記載内容が申請者のプライバシーを侵害しないこと。  
14. 申請書の記載内容が申請者の個人情報等を適切に管理すること。

別紙①

共同申請を行う場合に提出する書類です。

別紙②

分離発注や複数回の補修工事を行った場合に提出する書類です。

**住まいの復興給付金制度** 補修 別紙① 共同申請者申告書

すべての代表申請者および共同申請者は本申請書の記載内容および「同意事項」を承認し、同意の上、給付申請を行います。また、自ら給付申請および給付金の算出を代表申請者に委任し、代表申請者はこれを承認します。

被災時点の被災住宅の所有者  所有権が複数の被災者がお持ちになっている場合

共同申請者	氏名	フリガナ	代表	承認	年月日
代表申請者	復興 進	タケノコ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	20年8月1日

**補修工事の発注者** 被災住宅の所有者と補修工事の発注者が同一の場合も記入してください。

発注者	氏名	発注年月日
1 代表申請者	復興 進	20年8月1日
2 共同申請者	復興 進	20年8月1日
3 共同申請者	復興 順子	20年10月20日
4 共同申請者		

実際に支払った補修工事費の電料分合計 4,320,000円

**住まいの復興給付金制度** 補修 別紙② 工事請負契約が複数の場合の工事確認書

分離発注や複数回の補修工事を行った場合など、複数の工事請負契約を締結し、工事を行った場合は、工事契約ごとに情報を記入してください。以下について間違いがないことを確認し、申告します。

補修工事に係る最終工事の引渡日	実際に支払った補修工事費の電料分合計
(平成) 令和 26 年 9 月 30 日	
1 工事	株式会社 住宅リフォーム
内容	改築 建二 022-123-XXXX
発注者	復興 進
発注年月日	26年4月15日
引渡年月日	26年7月15日
金額	3,000,000円
2 工事	補修 工事株式会社
内容	補修 太郎 022-222-XXXX
発注者	復興 進
発注年月日	26年6月20日
引渡年月日	26年8月15日
金額	1,000,000円
3 工事	壁面 工事株式会社
内容	壁面 太郎 022-222-XXXX
発注者	復興 進
発注年月日	26年7月1日
引渡年月日	26年9月30日
金額	320,000円
4 工事	
内容	
発注者	
発注年月日	
引渡年月日	
金額	円
5 工事	
内容	
発注者	
発注年月日	
引渡年月日	
金額	円
6 工事	
内容	
発注者	
発注年月日	
引渡年月日	
金額	円

実際に支払った補修工事費の電料分合計 **4,320,000円**

申請書を記入する際は、この手引きのP37以降の記入方法を参照の上、作成してください。